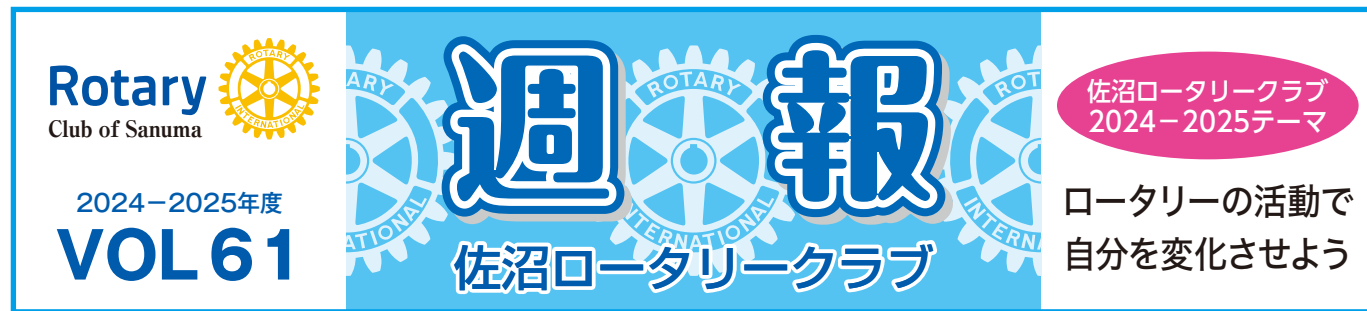




会長 太田陽平
幹事 大畑好司
会報 猪股育夫
例会場 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼
☎22-8180 FAX22-0327



第2952回例会 2025. 4. 24 No.36

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・太田陽平会長 本日のフォーラム、社会奉仕委員会伊藤秀雄委員長ご苦労様です。
- ・伊藤秀雄会員 4月22日園遊会に行ってまいりました。天気も良く、陛下はじめ、殿下以下皆様とお話が出来良かったです。本日、社会奉仕委員会「奉仕とは」というテーマでフォーラムします。宜しくお願い致します。
- ・阿部泰彦会員 伊藤秀雄会員、春の園遊会おめでとうございました。フォーラムご苦労様です。
- ・高田次雄会員 ストーリーキング、ひと昔前の物語かと思っておりましたが、令和版の入れ墨をした凶暴なストーリーキング、怖いですね。伊藤秀雄社会奉仕委員長、本日のフォーラム勉強させてください。
- ・大畑好司幹事以下 本日のフォーラムに期待して。
佐々木崇会員 氏家良典会員 遠藤光則会員
猪股育夫会員 佐々木源悦会員 岩渕正彦会員
熊谷敏明会員 高橋利光会員 布施孝尚会員
菅原慶一会員 山田正会員 武川毅会員
杉田広仁会員 佐藤早智子会員 千葉正宏会員
佐藤哲弥会員 志賀昭洋会員 佐藤利尚会員
村上正弘会員 及川幾雄会員 佐藤郁子会員
渡辺光太郎会員 岡本健一会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 太田陽平会長

60周年記念式典まで、あと24日となっております。本日も、式典部会の会議を行いますのでよろしくお願い致します。

先週は、奥州市水沢で2520地区大会が開催され、そして、姉妹クラブの余目RC55周年記念式典が開催されました。参加されましたメンバーの方々ご苦労様で

した。

私は金曜日のゴルフ大会に7名で参加させていただきました。豪雨の中での開催でゴルフ場の芝がぐちゃぐちゃになっており、足をすべらし転倒し7ホールより途中リタイアしました。足の痛みがあり午後から整形外科の先生に診ていただきました。「骨には異常がないので大丈夫でしょう」と言うことで、土曜、日曜日と参加させていただきました。

土曜日は、会長・幹事会、RI会長代理寺嶋哲生様の基調講演、その後のRI会長代理歓迎晩餐会に参加させていただきました。日曜日の本会議には10名で参加いたしました。その中で、前年度米山記念奨学会より寄付金2,000万円達成クラブとしての表彰で感謝状の贈呈があり、昨年度のガバナーから壇上でいただきました。地区大会の冊子を見ますと、佐沼クラブの中でも数名の方が表彰となっております。

23-24年度：ガバナー特別賞（地元に貢献した社会奉仕活動「大網光のページェント」千葉吉男会員）

24-25年度：会員純増クラブ（4名増強）佐沼クラブ。3名以上の会員増強で志賀昭洋会員。

これも常日頃からしっかりとロータリー活動以外で社会貢献されているところが認められたということで大変光栄に思っております。社会奉仕という中で、大船渡の山火事の件でも大船渡西RCの会長さんから、直々に「先んじて毛布やふとん等の提供をいただき、大変助かりました。」と感謝の言葉をいただきました。私たちのクラブとしてしっかりと社会貢献をしていきたいと思いました。

幹事報告 大畑好司幹事

・特になし

各委員会報告

・姉妹クラブ委員会（委員長代理：高橋利光会員）
熊谷敏明委員長に代わって、参加者のとりまとめを

しました私の方からご報告いたします。

4月20日(日)に開催されました、余目ロータリークラブ創立55周年記念式典に、布施孝尚副会長はじめ9名で参加いたしました。

式典は1時間位で比較的質素であっさりしたもので、参加者74名でした。式典が終わったあと記念講演があり、その後祝賀会に入りました。最初に40分位津軽三味線の演奏があり楽しく過ごすことが出来ました。姉妹クラブは佐沼クラブだけで非常によろこんでいました。浅井会員が中心になって運営されたようで昨日参加に対してのお礼の電話をいただきました。

余目RCの会員数は37名と聞いております。若い人が多く、55周年を機に皆で力を合わせて盛り上げられたとのことです。当クラブの60周年においでになりますので、きちんとおもてなしをしたいと思っています。

フォーラム

・社会奉仕委員会（担当：伊藤秀雄委員長）

「ロータリーにおける社会奉仕とは」

コーディネーター：伊藤秀雄社会奉仕委員長

パネラー1：太田陽平会長

2：布施孝尚副会長

3：佐藤敬喜ロータリー財団委員長

・コーディネーター

1. 一般的な社会奉仕とは、社会の利益や幸福のために個人的な利害を考えずに、無償で活動する事（ボランティア）。一方では、自主性だけでなく強制的に奉仕させられる側面もある。皆さんが考える社会奉仕への概念はいかがか？

2. 「超我の奉仕」（利己と利他の精神がバランスよく奉仕につながる事）の精神をロータリアンが一人一人実証する機会だとあるが、皆さんはどう考えるか。

3. これまでやられて来た社会奉仕活動とこれからこんな事をしたいと言うものがあればお願いします。

以上の3つについてお話いただきたいと思います。

・太田陽平会長：佐沼大綱で千葉吉男会員を中心に商業者が集まって行っている「光のページェント」は、地域の皆さんを楽しませていることが評価され、地区大会でガバナー賞をいただきました。他に渡辺光太郎会員がご飯が食べられない子供たちのために「子供食堂」に5～6kgの米を支援しております。このような活動がロータリーにおける社会奉仕活動だと思っています。

自分の生活の中で「超我の奉仕」を考えての行動はあまりなく、普段行っている自分の職業の中で出来ることはしていこう、地域の皆様の役に立てたらというぐらいの精神でやっております。

・布施孝尚副会長：ロータリーに於ける社会奉仕には色々な形があり、基本的には個人として何が出来るか、社会参加をしながら多くの人たちと交流し奉仕するというのが一般的に認知されていると思います。特別な事をするのではなく、日常的に気がついた時自分の出来ることを実践することが社会奉仕の原点だと考えております。

「超我の奉仕」かどうか確信は持てませんが、誰かに何かをしてあげたいというのではなく、例えば災害が発生した時「何とかしなければ」と何かに突き動かされるもの、自分の中で考える前に行動するというのが「超我の奉仕」だと私は思っています。

・佐藤敬喜ロータリー財団委員長

私は、ロータリークラブに入ってから、野球大会等

クラブの事業を通して社会奉仕活動をやってきました。体を動かしての奉仕の他に、皆さんからの寄付金をロータリー財団に送り、財団を通して困っている人たちや団体を支援しています。今までやってきたことが社会奉仕だと思っております。皆様の善意に感謝申し上げます。

先日の地区大会基調講演の中でRI会長代理寺嶋哲生様は「これからの一つの道標としてブランド化したらどうか」と話されました。「赤十字」は戦場でも活動します。人々には「赤十字は困った人や傷ついた人を助けるもの」とそのマークを見てイメージします。我々ロータリアンも社会奉仕、職業奉仕を通して、ロータリアン共有のイメージが出来るようなクラブにしていきたいと思います。

・コーディネーター

本日のフォーラムで、遠賀RCのHPを参照させていただきました。社会奉仕の機会に関する項目が9つあります。(1)危機下の児童 (2)障害者 (3)保健・医療 (4)国際理解と親善 (5)識字能力と計算能力 (6)人口問題 (7)貧困と飢餓 (8)環境保全 (9)都市問題

この9つの機会を通して、ロータリアン各自が奉仕を考えていくのが、ロータリークラブの目的です。結果として自分の成長になってくるものと思っています。

— 紙面の都合上、お話は主旨のみにさせていただきました。



千葉正宏前会長へ米山記念奨学会からの感謝状



コーディネーター、パネラーの皆様